

基本的方向 5

スポーツへの参画の推進と 次世代アスリートの育成

施策 22 生涯スポーツの基礎づくりの推進

施策 23 次世代アスリートの育成の推進

【基本的方向 5 と関連する SDGs】



基本的方向5

豊かなスポーツライフの実現に向け「する」「みる」「ささえる」視点からのスポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成を図ります。

「第3次佐野市スポーツ推進基本計画」から、子どもたちに関する内容を記載しています。

施策22 生涯スポーツの基礎づくりの推進

◇現状と課題◇

近年、平均寿命の延伸や健康増進への意識の高揚、生活意識の変化等が進み、若者から高齢者までスポーツに楽しみを求めるとともに、健康づくりや人と人とのつながりを広げる場としてスポーツを行うことが広く普及してきています。スポーツは健康や体力の向上などの身体的効果や達成感や爽快感等の精神的効果をもたらすだけでなく、年齢等を越えた様々な出会いを生み、毎日の生活に活力や充実感、生きがいをもたらしてくれます。こうしたスポーツの効果を世代や性別、障がいの有無等を越えて享受することができるよう、スポーツを生活の一部に取り入れ、生涯にわたりスポーツに親しむ「豊かなスポーツライフの実現」「生涯スポーツ社会の実現」が求められています。

「豊かなスポーツライフの実現」「生涯スポーツ社会の実現」の第一歩として、子ども時代にスポーツの楽しさを体感し、スポーツへの関心や意欲を喚起することが大切です。本市では子どもたちが身近にスポーツに親しむことができる環境づくりとして、本市の特徴的なスポーツであるクリケットを体験できる機会や小学校学習指導要領に例示されたタグラグビーを体験できる小学校対抗の大会等を設けるなど、子どもたちがスポーツへ取り組む機会を広げる活動に取り組んでいます。今後も生涯スポーツの素地づくりへの取組の推進を図り、だれもが、いつでも、いつまでも、スポーツを楽しむことができる「豊かなスポーツライフの実現」「生涯スポーツ社会の実現」を目指します。

しかし、令和元（2019）年に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、多くのスポーツイベントが中止になったり、スポーツ施設が利用制限されたりするなど、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しました。また、感染症拡大防止のため、運動を控える傾向が見られるようになり、身体的及び精神的な健康を脅かす健康二次被害※1も懸念されています。コロナ禍においても、感染状況を踏まえ感染症対策の徹底を図った上で、健康の保持・増進、ストレス解消等に向け、各自に適した運動・スポーツに取り組むことが大切であるとされています。今後も感染症対策を踏まえたスポーツイベントの在り方について検討し、スポーツをする機会を作り出していきたいと考えています。

主な取組 (1) 子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実

生涯スポーツの素地づくりとして、子どもたちが「する」「みる」「ささえる」の視点からスポーツに触れ、親しむ機会の充実を図ります。

※1 健康二次被害…運動不足や人との関わりが減少すると免疫力の低下、生活習慣病の悪化、ストレスによる心の病等につながります。

【具体的な方策】

①子どもたちが様々なスポーツに取り組める機会の充実*「する」

スポーツ教室やイベントなどを、各種スポーツ団体、指定管理者等と連携し、子どもたちが様々なスポーツに取り組める機会の充実を図ります。



スポーツ教室（卓球）



スポーツ教室（陸上）

②トップアスリートと交流する機会の設定*「する」「みる」

トップレベルのプレーを間近で観たりスポーツ教室等で交流したりする機会を設定し、子どもたちのスポーツに対する意識の高揚を図ります。

③スポーツボランティアに取り組む機会の設定*「ささえる」

地域のスポーツ大会やイベントの運営補助や世話係など、子どもたちがスポーツボランティアとして活動できる機会を設定し、スポーツを支援する楽しさを体感できるようにします。



スポーツボランティア

④総合型地域スポーツクラブの質的充実の推進*「する」「ささえる」

住民が種目を越えてスポーツを「する」「ささえる」仕組として、総合型地域スポーツクラブが持続的に地域スポーツの担い手として役割を果たせるよう支援の充実を図ります。

⑤障がい者スポーツへの理解の推進*「する」「みる」「ささえる」

障がい者スポーツに取り組んでいる選手とのふれあいの機会や障がい者スポーツの体験の機会を設定し、子どもたちの障がい者スポーツへの理解を深めます。

【関連事業、会議、研修】

- スポーツ教室開催事業 ○競技スポーツ強化事業
- スポーツボランティア活用事業 ○総合型地域スポーツクラブ活動支援事業 等

主な取組 **（２）感染症等を乗り越えスポーツをする機会を生み出す取組の推進**
 各種スポーツ団体と連携し、新型コロナウイルス感染症等を乗り越えてスポーツをする機会を生み出せるように努めます。

【具体的な方策】

①感染症対策を踏まえたスポーツイベント開催に向けた検討の推進

新型コロナウイルス感染症等に関する最新の感染防止の方策と感染状況に注意を払い、スポーツイベントが開催できるよう検討します。

成果指標

成果指標	基準値	令和2(2020)年度	目標値	令和7(2025)年度
総合型地域スポーツクラブの会員数		2778人		2950人

施策23 次世代アスリートの育成の推進

◇現状と課題◇

競技スポーツは、スポーツ技術や記録の向上を目指し、人間の可能性の極限への挑戦を追求するスポーツです。その最高峰であるオリンピック・パラリンピック競技大会をはじめとした各種国際競技大会におけるトップアスリートである日本代表選手の活躍は、私たちに誇りと喜び、夢と感動を与えてくれます。また、様々なスポーツ競技大会等での優れた成果は人々のスポーツへの関心を高め、スポーツ全体の振興に資するとともに、活力ある健全な社会形成に貢献するものとも言えます。

令和4(2022)年10月に栃木県で開催される国民体育大会では、本市はラグビーフットボールやバレーボールの大会会場となっています。大会では国内のトップアスリートの熱い戦いを間近で観ることができたり、ボランティアとして競技を支えていただいたりなど、「みる」「ささえる」機会が提供され、市民のスポーツ意識がより一層高まることが期待されています。

また、本市出身のアスリートが国内外で活躍することも、市民に夢や希望、感動や活力を与えてくれます。近年では、本市の中学生が全日本陸上競技選手権大会で短距離走、障害走、リレー等で全国優勝を収め、大きな感動をもたらしました。本市では、優れた素質を有するジュニア選手に対し、個人の特性等に応じた高いレベルの指導を受けられる機会を提供し、選手的能力開発と育成を図っています。今後、本市ではスポーツ医科学センター※1を設立し、アスリートをはじめ子どもたちの体力や技術力向上を図る取組を実施する予定です。また、各種競技団体と連携し、スポーツ指導者の発掘を図り、

※1 スポーツ医科学センター…スポーツ医科学を応用して競技力向上、体力や健康増進を図る設備やメンタルや栄養面を指導する医師や専門家などが配置された施設のことで。

中学校等部活動へ派遣し、より専門的な指導を受けることができるようスポーツ指導者登録制度を構築していきます。こうした取組を通して、次世代アスリートが育つ環境を整え、競技スポーツの推進を図っていきたいと考えています。

主な取組 (1) ジュニア選手の育成の推進

「佐野育ちのトップアスリート」を育成するため、有望なジュニア選手の発掘・育成・強化に努めるとともに、各競技団体からスポーツ指導者を部活動に派遣するなどを通して、選手のレベルアップを図ります。

【具体的な方策】

①競技力向上のための講習会等の開催

ジュニアアスリートの発掘・育成・強化を図る基礎トレーニング講習会や確かな指導力を備えた指導者を育成する講習会等を開催します。

②スポーツ医科学センターによる子どもたちの競技力向上の支援の推進

スポーツ医科学センターを通して、子どもたちの発育・発達の観点から、スポーツ外傷・傷害を予防し、年齢に応じた競技力の向上を支援します。

③スポーツ指導者登録制度の構築と指導者の部活動への派遣の推進

各種競技団体からスポーツ指導者を発掘し登録制度を構築するとともに、指導者を中学校の部活動へ派遣することを通して、子どもたちの競技力の向上に寄与します。

〈関連〉【基本的方向1】特色ある教育と心の教育の推進【施策3】健やかな体の育成に向けた教育の充実【主な取組】持続可能な部活動の実現 P56 を参照

④佐野市スポーツ賞・ジュニアスポーツ賞表彰の開催

高校生以上を対象とした佐野市スポーツ賞と児童生徒を対象とした佐野市ジュニアスポーツ賞を設け、顕著な功績を残した団体や個人を表彰し、栄誉を称え、競技に取り組む意欲の継続と向上を図ります。



ジュニアスポーツ賞表彰式

⑤全国大会等出場への支援

全国大会等に出場する選手や団体の栄誉を称えとともに、大会に向けての激励と健闘の思いを込め出場を支援します。

【関連事業、会議、研修】

- 佐野市スポーツ賞表彰事業 ○競技スポーツ強化事業
- スポーツ医科学センター設置事業 ○全国大会等出場支援事業費

成果指標

成果指標	基準値 令和2(2020)年度	目標値 令和7(2025)年度
関東、全国大会等に出場する個人と団体	12 R2はコロナ禍のため多くの大会が中止だったため	130
市スポーツ指導者登録制度への登録者数	— 市スポーツ指導者登録制度はR3から実施のため	60人

佐野市の主なスポーツ関係施設

